

第11回 倉敷市教育委員会議事録

1 開催期日	令和3年9月16日(木)		
2 開会及び閉会時刻	開会時刻 14時02分 閉会時刻 14時37分		
3 場所	教育委員室		
4 出席者	井上正義		
	難波弘志		
	大原あかね		
	仁科正己		
	沼本浩彰		
5 会議に出席した事務局又は教育機関の職員の職氏名			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	黒瀬敏弘	課長	長野渉
参事	辻一幸	課長補佐	堀内秀和
参事	小野敏		
部長	笠原和彦		
参事	三宅香織		
部長	三宅健一郎		
参事	三谷育男		
次長	山本明		
6 教育長等の報告			
.....			

7 議題

8 議事の概要，質問した者の氏名及びその要旨並びに議決事項

別紙のとおり

9 傍聴の状況

公開

傍聴人 1名

議事録者氏名 堀内 秀和

議事録署名委員

教育長 井上 正義

委員 難波 弘志

〈教育長〉 それでは只今から、教育委員会を開催いたします。

只今のご出席は5名、会議は成立いたしました。

この度の教育委員会は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮いたしまして、Z o o mによるWEB会議方式により開催いたしますので、よろしくお願ひします。

まず、8月26日開催の教育委員会会議録について、各委員の皆様におかれましては、内容のご確認をいただきましたでしょうか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 前回の会議録につきまして、承認することにご異議ございませんか。

〈各委員〉 はい。

〈教育長〉 ご異議ないようですので、前回の会議録を承認することといたします。

本日の傍聴者は1名でございます。傍聴者は倉敷市教育委員会傍聴人規則に従って傍聴をしてください。

この度は議案等がございませんので、報告事項に入ります。

「シネマ d e ふれあいフェスタ 2021 の開催について」のご説明を、小野参事、お願ひします。

〈小野参事〉 人権教育推進室の小野です。

教育委員会資料の1ページをご覧ください。「シネマ d e ふれあいフェスタ 2021 の開催について」お知らせいたします。あわせて、後ろに募集チラシをお付けしておりますので、ご参考になさってください。シネマ d e ふれあいフェスタ 2021 は、従来行ってまいりました、集客・参加型イベントのふれあい人権フェスタの代わりといたしまして、人権の尊重される住みよ

いまちを目指し、映画を上映すること等を通して、人権について考えることにつなげるきっかけにすることを目的に開催いたします。この事業は、主に人権政策部の方が企画・運営を行っているものでございます。本年度の内容は、小学生程度の子ども向けアニメ、一般の方向けのドキュメンタリー、ご家族向けの実話を基に描かれた作品の計3点を上映するほか、人権擁護委員による工作教室や人権相談、真備のたけのこ茶屋による特産品の販売などがあります。教育委員会は、小学校低学年の人権ポスター展を予定しております。日時につきましては、10月9日土曜日の午前10時から午後4時40分までの予定です。場所は、マービーふれあいセンターで、定員は映画3作品の合計1012名とし、その他のコーナーについては定員を設けておりません。入場は無料ですが、映画鑑賞のみ事前申込による入場整理券が必要となります。また、定員を上回る申込があった場合は抽選とさせていただきます。申込方法につきましては、郵送、電話、ファックス又は倉敷市電子申請サービスとし、募集期間は、8月25日の水曜日から9月22日の水曜日までとなっております。募集の広報につきましては、広報くらしき9月号及び市ホームページ並びに新聞広告へ掲載するほか、本庁総合案内、各支所、各公民館、市内の学校等へ募集チラシを配布しております。会場においては、マスクの着用、入場時の検温・手指消毒、換気対策等、「新しい生活様式」等を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。委員の皆様には、ご紹介が遅くなり申し訳ございませんが、ぜひ会場までお越しくださいますようお願いいたします。映画につきましては、9月22日までに人権教育推進室の方までお知らせくださいましたら、お席を確保させていただきます。以上、「シネマdeふれあいフェスタ2021の開催について」のお知らせです。よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 はい、ありがとうございました。それでは、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

〈仁科委員〉 当然、いろいろ全体のことを見られていることなので何もないんですけども、この会場の竹ホールには何人ぐらい入るのでしょうか。

〈小野参事〉 映画のところ定員を書いておりますが、これの約倍だと思います。

〈仁科委員〉 448人だった場合、896人くらいでしょうか。最近よく小学校でも、ソーシャルディスタンスとかいろんなことをすごく気を遣われていることは、もう十分、分かってるんですけども、そういった形の中でどうされてるのかなと思って聞こうと思っただけです。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。

それでは、続きまして、「令和3年度全国及び岡山県学力・学習状況調査の結果の概要について」のご説明を、笠原部長、お願いします。

〈笠原部長〉 はい、学校教育部の笠原です。

教育委員会資料2ページをご覧ください。今年5月27日に行われました「全国及び岡山県学力・学習状況調査」の結果につきまして、8月31日に岡山県教育委員会から公表され、委員の皆様には、少し遅れて次の日になりましたが、取り急ぎFAXでご報告をさせていただきました。本日は、その結果の概要につきまして、ご説明をさせていただきます。

2ページ、(1)全国調査の「調査の目的」につきましては、そこにもありますように、「児童生徒の学力や学習状況の把握、教育施策の成果と課題の検証、また、今後の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ということのために実施をするものでございます。ちなみに、岡山県調査は、4ページから6ページに載っているんですが、その(1)に、同じように県調査の目的もありますが、全国調査とほぼ同じ内容であると考えております。

2ページに戻りまして、(2)の「調査の対象」では、全国調査は全国の小学6年生並びに中学3年生の全児童生徒を対象としております。ちなみに、岡山県調査は4ページの同じく(2)にもありますが、小学3から5年生、中学1から2年生の全児童生徒を対象としております。ただし、この岡山県調査では、政令指定都市の岡山市は参加をしておりません。

また2ページに戻りまして、(3)は先にも述べました調査実施日です。全国調査と岡山県調査は、例年、同日に実施をしておりまして、今年度は例年より約1か月半遅れの実施となっています。

続いて、(4)の「実施状況」の学校数・児童生徒数につきましては、それぞれご確認ください。全国調査は、例年、約100万人が参加をしております。これに対して、岡山県調査は、4ページの方にありますが、(4)に見ますように、学年によってばらつきもありますが、例年、全国調査の約10分の1、10万人前後の参加となっているということでございます。

今度もまた2ページに戻りまして、(5)から「調査の結果」についてです。まず全国調査は、児童生徒が、問題の中で、平均して何問正しく解答したかを表します「平均正答率」として結果が公表されております。表中にもありますように、倉敷市の小学6年生の「国語」は平均正答率が68%で、全国を3.3%上回り、「算数」は69%で、全国を1.2%下回っております。また、倉敷市の中学3年生の「国語」は同じように全国を1.6%下回り、「数学」は全国を2.2%下回る結果でございました。この「平均正答率」は、平均点とは違いましてパーセントで表される数字でして、例えば、「平均正答率」マイナス2%の差というのは、50人に1人、各設問ごとに正解者が増えることで解消を図ることができます。そこが、学級全ての児童生徒が、2点ずつ点数を上げていくことが必要とされる「平均点」と意味が違うとこ

ろでございます。よって、今回の調査で中学校において、全国と倉敷市の開きは約2ポイントなのですが、それは、クラスに正解者が1人多いか少ないかといった範囲の差であるということが出来ます。

続きまして、3ページには、(6)としまして「市町村別の状況」を載せておりますのでご覧ください。全国の値につきましても、県教委の方が平均正答率を四捨五入した整数値で発表しております。網掛けの数値は、全国の平均正答率以上のものでございます。順位については、岡山県の小学校が15位、岡山県の中学校が16位という結果でございました。岡山県全体としては、小学校6年生の算数以外は全国平均以上になっておりまして、そういった意味では、倉敷市においても、県全体においても、状況が改善・向上傾向を示していると言えると考えております。

続きまして、同じように、県調査については、5ページの(5)に「調査の結果」を載せております。岡山県調査では、全国調査で用いられます平均正答率ではなくて、全国の平均正答率を50とした「標準スコア」を使って、整数値で結果が示されております。表中カッコ内の数字は、一昨年度のスコアです。小学校3、4、5年につきましては、国語、算数ともすべて県平均を上回っております。中学1、2年生については、県平均をわずかに下回っておりますが、詳細には、いずれもマイナス0.数ポイント以内という結果でございました。

6ページをご覧ください。岡山県調査の県内の市町村別の結果で、網掛けの数値は、全国調査と同じように、全国の標準スコア以上であることを示しています。

これら「全国及び岡山県学力・学習状況調査」は、県や市町村をはじめ、自治体の順位が注目されがちですが、本来の目的は、個々の児童生徒の日々の

指導に生かしていくことであると考えております。また、調査と同時に行われました、学習時間とかメディアの視聴時間など家庭での生活状況や、学校での学習の様子などについて尋ねます「学習状況調査（質問紙調査）」の分析は、非常に重要であると考えております。コロナ禍で新たに増やされた質問も今年ありました。例えば「新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じますか」といった質問では、全国においても、岡山県、倉敷市においても、過半数以上の児童生徒が、不安を感じたという結果も明らかとなっています。

今後、この「学力調査」及び「学習状況調査」の詳細な分析ののち、例年と同様「報告書」にまとめまして、再度、ご報告させていただきたいと考えております。以上、結果の概要について、ご報告させていただきました。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。それでは、委員の皆様方でご質問がありましたら、お願いします。

〈難波委員〉 詳細な検討がされてからでいいかなと思ったんですけども、全体の倉敷市の結果を見ると、他の学年はまずまずなのに中学3年がちょっと悪いようです。この結果について、今の時点で把握していたり検討していたりすることがあれば教えていただければと思います。

〈笠原部長〉 例年、中学校の方が苦戦をされてまいりました。今年こそはと言いながら、何年も経つというのが現状でございます。ただ、中学校も授業改革推進リーダーを置き、授業改革に取り組んでいます。全国との開きについても、以前は5ポイント近くございましたが、かなり差を詰めてきました。それから、先程、お話をしましたように指標が「平均正答率」となりますので、学級のうちの数人の生徒についてしっかり理解の定着を図っていきましょうなどいろいろな目標を持って取り組んでおりますが、中学校の難しさは教科担任制



にあると考えています。国語や数学の教師に限らず、学力向上については、学校全体で取り組むこととしていますので、来年こそはいい結果をご報告できると考えています。

〈難波委員〉学習が遅れている子どもたちが学年を追うごとに学習を放棄した結果が中3に出ているのではないかと危惧したものですからお聞きしました。詳細な結果が出たら、また、いろいろ教えていただければと思います。

〈教育長〉 それでは、続きまして、「第43回倉敷市こどもまつりの開催中止について」のご説明を、三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 はい、生涯学習部の三宅でございます。

委員会資料の7ページをご覧ください。「第43回倉敷市こどもまつりの開催中止について」のご報告でございます。毎年2月にライフパーク倉敷で全体を会場として開催しておりまして、2000人～3000人あまりのたくさんのお子様がおいでになるまつりですが、新型コロナウイルス感染対策の観点から、昨年度に引き続きまして、今年度も、やむなく中止ということで、実行委員会の皆様の意見をいただきまして、中止とすることといたしましたので、ご報告いたします。簡単ですが、よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 それでは、続きまして、『「11月3日は自然史博物館まつり」の中止について』のご説明を、三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 はい、生涯学習部の三宅でございます。

委員会資料の8ページをご覧ください。「毎年11月3日は自然史博物館まつり」でございますが、大変多くの子どもさん、保護者の方がいらっしゃいますので、「こどもまつり」と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、今年度も開催を中止とすることといたしましたので、ご報告いたします。なお、イベントは中止しますが、土曜日と

か日曜日に、小さい家族単位、1グループ、2グループ単位で、小さなイベントをこのまつりの代わりとして、11月、12月に実施しようと思っています。詳細につきましては、ホームページで公開しています。また、ご覧いただけたらと思います。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。それでは、ご質問等ありましたら、お願いします。

〈仁科委員〉 こういった形で中止が続いているようですが、以前、自然史博物館だったでしょう。映像とか何かを少しされたことがあったかと思うんですけど、代替として小さなイベントをするということはすごくいいことだなと思いました。これからおそらく世の中も少しずつ変わっていくと思うので、そういった中でも、映像を利用して人同士をつなぐことに取り組んでも、いきなりは無理ですけども、いいのではないかなと思います。私どもも、会社で懇親会だとか旅行だとか、全然できなくなっていますが、やはり、どうやって人と人をつなげていくのか、いろんな形で模索しながら行っております。ユーチューブとかいろんな形がありますが、そういったことも少しずつできるのかなと思います。

〈三宅部長〉 美術館、自然史博物館、ライフパーク倉敷では、昨年度になりますが、ユーチューブで動画を配信しております。また、自然史博物館の方では、先日行われました「昆虫展」につきまして、途中で中止ということになりましたので、中止になった代わりにということで、学芸員が特別展の解説を行う動画を流しているところです。頻繁に動画をアップすることは難しいのですが、少しずつ動画をアップして、子どもさんに見ていただくよう努力をしております。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。他に、何かご質問等ありますか。

本日の議題は終了しましたが、事務局の方で何か付け加えはありますか。

〈三宅部長〉生涯学習部の三宅でございます。

7月の教育委員会で、図書館の特別整理休館日のことについてご報告をいたしました。その中で、玉島の図書館は10月の頭から4日間、9日まで休館と御報告しましたが、まん延防止の関係で現在休館しておりますので、その期間を利用してこの特別整理をさせていただこうと思っています。その代わりに、当初予定していた10月4日から9日の休館日は通常営業ということで、変更することとしました。口頭で申し訳ありませんが、急遽決まりましたので、本日ご報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

〈教育長〉はい、ありがとうございました。

それでは、委員の皆様方、これで全部終わったんですが、何かありましたら先に出していただきまして、最後に、難波先生からコロナ対策のご指導をいただきたいと思います。他の委員の皆様方、何かご意見等ありましたら、お願いします。

〈沼本委員〉こういうときだからこそZ o o m会議にされているんだなと思っているんですが、今日のように、議案、協議事項がないときだからこそZ o o m参観とかZ o o mの授業の様子を紹介してくださってもいいのかなと感じました。Z o o m会議に限らず、対面するときでも、議案事項、協議事項が少ないときであれば、今、子どもたちが持っているタブレットの利用方法を私たちにを見せていただけたらと思います。タブレットもどんどん使い方が進化していきうと思いますので、その進化形もを見せていただけたら助かります。要望としてお考えください。よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 はい、ありがとうございました。また、今、貴重なご意見いただきましたので、実際、ダイレクトにやっているのが見えたら一番いいと思いますので、検討してみます。もう少しお時間をください。

それでは、最後、難波先生から、新型コロナで特に学校、それから家庭で気をつけて行った方がいいことがありましたら、ご指導いただけたらと思います。よろしく申し上げます。

〈難波委員〉 オリンピック、夏休み、お盆休みと重なった第5波のCOVID-19の流行でした。収束に向かっているようですが、子どもたちにとっては新学期が始まり接触の機会も増えますのでこれまで通り、3密を避けての行動、手洗いの励行、適切なマスクの着用などを守るようにご指導をよろしく申し上げます。

次にワクチン接種に関してですが、ファイザー社のワクチンについて11歳以下の年齢の小児に治験が進んでいて、アメリカでは5歳以上11歳までの小児についてもワクチン接種が承認される見通しと聞いています。ワクチンの接種量は0.1mlに減量されているようです。ワクチン接種には大きなメリットがあると思いますが、副反応（有害事象）を伴うこともあります。厚生労働省のホームページには新型コロナワクチン接種に関する説明、「Q&A」などが詳しく記載されています。保護者の方々にはそれらを確認したうえで接種を考慮していただきたいと思います。

インフルエンザワクチン接種に関して少し話したいと思います。昨シーズン日本でもインフルエンザはほとんど全くと言っていいほど流行しませんでした。昨シーズンはインフルエンザワクチン接種が進んだこと、またコロナ対策としてのマスク着用の効果もあったのではないかとされています。日本でのインフルエンザの流行予測に関しては、季節が逆になる南半球のオー

オーストラリアの流行状況、流行株が参考になると言われています。オーストラリアでは昨年に引き続き今年もインフルエンザの流行はなかったようです。しかしながら、RSウイルス感染症が（いわゆる風邪ウイルスなのですが、3～4か月未満の乳児が罹患すると重症化のリスクが高い）昨年の秋冬まったく流行しなかったのですが、今年春から夏にかけて大流行し、重症化し入院となる乳児も多く発症しました。

昨年インフルエンザは流行していないので集団としての免疫が低下している可能性が強いので、今年も専門家はインフルエンザワクチン接種を勧めています。

新型コロナウイルスワクチン接種が進み大きな第6波が到来せずに、来年春の卒業式・入学式などの行事が通常に近い形で開催され、まだまだ様々な努力が必要になると思いますが来年度の子どもたちの学校生活が普通に戻ることを期待しています。

〈教育長〉 はい、ありがとうございました。この9月に入ってから、8月に比べて家庭内感染がじわじわ増えてきているようです。今は少し抑えられてはいるんですが、中学生に比べて小学生の数が増えているのは、やっぱり小さい子の方が感染しやすいということなのでしょうか。

〈難波委員〉 いろんなデータがありまして、既存株に比べるとデルタ株はウイルス量がかなり増えているように言われたりしています。アルファ株からデルタ株に変わってきたんですけども、デルタ株が子どもにだけ特異的に感染しやすいというようなことは言われていません。ですから、感染リスクは、中学生も、高校生も、小学生も、基本的には同じであると言われていますが、やはり各家庭内での接触機会が増えて、小学生への感染が強くなっている状況にあるのかなと思っています。子どもは、前にも話をしましたが、ACE2受容体

が少ないようで、入ってきてもウイルスを増やしにくいというようなことは言われております。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。マスクはやっぱり不織布のマスクを小さい子でもした方がいいのでしょうか。

〈難波委員〉 不織布の方が、感染予防効果が強いと言われてます。

〈教育長〉 布のマスクは、どうしても鼻が出たりしますので、やっぱりそこは子ども用の不織布のマスクをしっかりとるように指導した方がいいですね。

〈難波委員〉 私もそう思います。

〈教育長〉 分かりました。他の委員さんで何か、特にコロナの方で気になっておられるようなことがもしありましたらお願いします。

〈仁科委員〉 最近は感染の力がすごく強くなっていると聞く一方、それほど人数は増えてないということで、ふと思ったのですが、よく考えたら例えば50%の人がワクチンを打っている状態であれば、罹患する人が100人にいたら、そのうちの80人が1回も打ってない人、その残りの10人は1回目を打ってまだ1週間経ってない人っていうことのようなので、要するに、なっている人はほとんどワクチンを打ってない人ということになりますので、感染力は今まで倍になっているということになるんですね。そうすると、小学校でも当然、ワクチン接種はしていませんから、感染力が増えれば小学生の比率っていうのはすごく増えます。それから、父兄の方とか高齢者の方が、皆さんワクチン打たれて少し緩んでいたときがあるんですけども、もう打っているから大丈夫なんだみたいな形の動きをされると、その中でのウイルスの活動はなくてもお子さんの方にはどんどん入っていくのではないかなと心配しています。ですから、私どもの会社はいろいろと父兄の方が多いものですから、いろんなことを耳にする中で少し危惧しているんですけど、や

っぱり感染力っていうのは相当強いようです。ですから私どもも、本部とか店長とか、今までは布マスクとかウレタンとか許可していたんですけど、もう全部、不織布に変えるようにということで変更しています。まだ全員ではないですけども、管理職はもう絶対全員ですし、お客様の前に出る人は全て不織布に変えなさいというような形としています。

〈教育長〉 はい、ありがとうございます。他の委員の皆様方で、何かありますでしょうか。

以上で本日の議題はすべて終了いたしました。それでは、本日の教育委員会は閉会といたします。どうもありがとうございました。